
一瞬の風になるために

五言

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

一瞬の風になるために

【Nコード】

N7484Z

【作者名】

五言

【あらすじ】

陸上競技と高校生の青春ストーリーを重ねた作品です。初めての作品のため、下手くそですが、よろしく願います。

はじまり

「セット…バン…！」

計8レーンから横一線で選手が飛び出す。

「いっけーいけいけ！…いけいけ光太…！」

スタンドから応援がとぶ。

中学校地区大会決勝。

三位までに入れば、県大会までの道は開ける。

光太は最高のスタートをきった。

フライングはなし、皆が拮抗した力をもっているため、スタートで、順位が決まるといっても過言ではない。

光太は全身全霊の力を出した。

回りの景色が過ぎていく。

ゴールまであと20m。

太股が重い…乳酸のバカヤロ…！

他のレーンの選手との差はほとんどない。

駆け抜けなければ負ける。

光太は走った。

風になるため。

たった一瞬でも…

あと10m…

「…夢か…」

光太は目を覚まし、ゆっくり体を起こす。

机には中学校の時の写真が何枚も。

メダルも何個も並んでいた。

「にゃー…」

布団の上で寝てたのか、飼い猫のシャムが抗議の声をあげた。

「また、そんなところで…自分のところで寝ろって何回しゃべったと思ってんだ…」

光太はため息をつきながら、シャムを抱え部屋をでた。

台所からは、朝食のいい臭いがしている。

「母さん、父さん、おはよう」

台所では、光太の父と母がいた。

二人ともまだ、ラフな格好をしている。

「「おはよう、光太。」」

見事なはもりである…

「あら？ シャムちゃん！ また、光太の部屋に潜り込んだの？」

シャムは、にゃー…と小さく返事をした。

「仕方がない子ね… まあいいわ… 光太、朝御飯は？」

「走って、シャワー浴びてからにするよ。」

というと、光太は着替えて、外に出ていった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7484z/>

一瞬の風になるために

2011年12月24日19時54分発行